

露と霜の話

(「風月無尽」前野直彬(東京大学出版会))

三村公二

★「前赤壁の賦」の一節(蘇軾)

白露横江

白露 江に横たわり

水光接天

水光 天に接す

縦一葦之所如

一葦の如(ゆ)く所を縦(ほしいまま)にして

凌万頃之茫然

万頃(まんけい)の茫然たるを凌(しの)ぐ

Q::露が川面に横たわるとは?水の上に水、区別がつくの?

★「楓橋夜泊」(張継)

月落烏鳴霜滿天

月落ち烏鳴いて 霜 天に満つ

Q::霜が天空に満ちるとは? 地上に満ちるのであれば理解できるが。

⇔

A::これらは中国自然科学史に関連が有り、露・霜・雨・雪は全て天(空)で出来て、それから地上に降りてくるというのが古代中国の天文学の常識であった。

★「詩經」秦風、蒹葭の詩

蒹葭蒼蒼

蒹葭蒼蒼たり

白露為霜

白露 霜となる

毛伝では

「白露凝戻して(凝り固まって)霜となる」

と説明している。即ち、露が冷却されて凝固したものが霜で、霜が更に凝結すると氷になる。

★「礼記」の月令篇、孟秋の月の条に

「涼風至り、白露降る」

とある。露が雨や雪と同じく天から「降る」ものであると考えられていた。

★「礼記」の礼運篇に

「故に天は膏露を降し、地は醴泉を出す」

とある。「膏」は「甘」のことで「膏露」は「甘露」という事である。天上界には「甘露」という特別の露が有るといわれていた。

★漢の武帝が宮殿の前に高い銅製の柱を立て、その頂上に大きな盤(仙人掌)をのせ、

「雲表の露を承ける」

とした。雲の上の露を採集するというわけである。

★南宋の朱熹の「朱子語録」に

「霜は露が凝結してできたもの、雪は雨が凝結してできたもの」

とある。露や霜は天から降ってくると信じられていた。